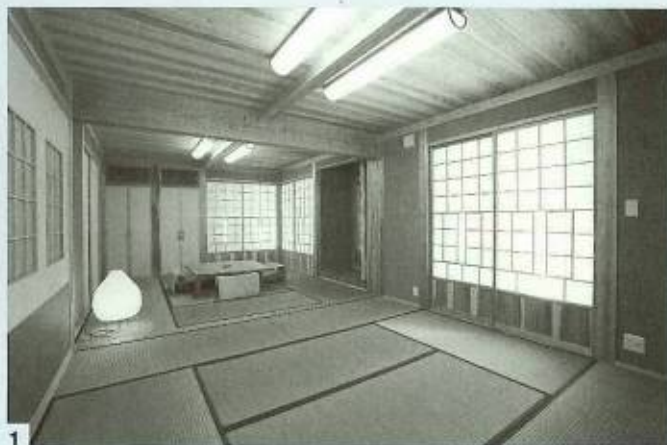


永代ハウス 株式会社

〒857-0052 長崎県佐世保市松浦町4-17
 TEL.0956-23-7288 FAX.0956-25-0819
 E-mail:honsha@eidai-house.co.jp
 HP:http://www.eidai-house.co.jp



永く住み継ぐ、自然素材の家づくり

平成15年、それまで新建材による住まいづくりを行っていた当社が、「このままでよいのだろうか?」と模索する中で、方向変換をするきっかけとなったのがエアバス工法と自然素材の住まいづくりです。エアバス工法の、機械に頼らず本当に住む人と環境を考えた住まいづくりを、お客様さまへ自信を持っておすすめしています。

当社が施工を手がけている、福岡・長崎・佐賀は温暖ですが、台風の被害が多く、また雨量も多い地域です。そのため「住まいの快適さ」は大変重要であると考えています。

また、九州の住まいには九州の材料をとということで、地元に近いところで取れた杉を中心に、地元材や自然素材を生かして、つくり手の心意気が伝わる住まいづくりを行っています。

新建材の家を大量生産するのではなく、①その地域にあった住まいづくりを行うこと。②代々に渡り、修理をしながら住み継げること。もしくは建て替える時に再利用できること。③お施主さまが、ご自分の家を周囲の人にどれだけ誇れるか。

こういったことを考えながら「オンリーワンの住まいづくり」をめざしています。

無垢材や自然素材を使いこなすには職人の熟練した技術が必要です。仕様や技術・材料の質を落とさず安きに走ることは簡単ですが、それでは明日のためになりませんし、子どもたちの未来へもつながりません。「オンリーワンの住まい」

会社略歴

昭和62年設立。現在、長崎県3拠点、福岡県2拠点、佐賀県1拠点にて注文住宅及び公共事業などを手がけています。平成15年より、国産の木材や自然素材を生かした「エアバス工法」を開始、平成20年よりオールアース住宅も合わせて、「永く住み継ぐ、人と環境にやさしい自然素材の住まいづくり」を行っています。

●施工エリア 長崎県、福岡県、佐賀県

地域での活動など

展示場にて、地域の中高生の音楽会や、わらじづくり体験会、木工教室、人員を募集して森林伐採ツアーをしたり、家具工場の見学などを行っています。また地域の方々とおさこいチームを結成し、お祭りに参加したり(結成10年目です)、年に一度お客様や地元の方をお招きして運動会を開催しています。今後もこれまで以上にOBのお客様、地域の方々との交流を深めていけるようなイベント・活動を行ってまいります。

家をつくる仲間たち

当社は21組の大工職人グループと、その他96組の「その道のプロ」の職人の方たちとともに、住まいづくりを行っています。大工棟梁の皆さんは、プレカットが主流になった現代、手刻み加工の技術を、左官職人の皆さんは、漆喰や珪藻土などの塗り壁の技術を次の世代に伝えるために、日々勉強会や研究会を行っています。また、建具職人も昔ながらの模様・造りや、現代のデザインを取り入れたものまで、熟練の技を發揮し建具づくりに取り組んでいます。私たちの願いは、お客様さまからの「ありがとう。頼んでよかった」の言葉をいただくこと。そのために、「手間がかかる」ではなく「心を込める」仕事を社員、そして職人の皆さんと一丸となって住まいづくりに取り組んでいます。



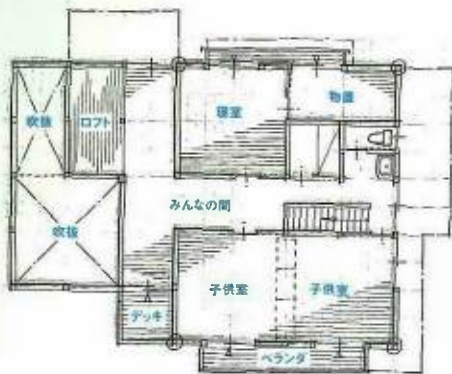
福岡 警固の家

家族が健やかに過ごせる、本物の木組みの家。床、天井、梁をはじめ室内は熊本・小国産の杉を使用。壁は漆喰を使い、リビングの2本の梁が力強さを表しています。メインの大黒柱は8寸。「エアバス工法」と「広がりの間取り」を採用し、自然の力で光と風が通る、「夏涼しく 冬暖かい家」。

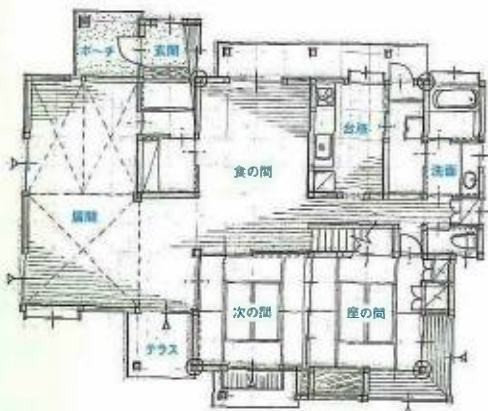
建築データ



2F



1F



所在地●福岡県福岡市中央区
 家族構成●夫婦+子ども2人
 延床面積●213.1㎡(1階126.98㎡ 2階79.50㎡ ロフト6.62㎡)
 敷地面積400.00㎡
 竣工●2008年3月
 設計●小林一元建築設計室
 施工●永代ハウス㈱
 工費●3000万円(車庫・外構別)
 主な外部仕上げ●屋根:ガルバリウム鋼板 外壁:ジョリパット仕上げ、一部杉板(小国産)
 主な内部仕上げ●天井:小国杉 壁:漆喰 床:小国杉
 主な構造材●柱:小国杉 梁:小国杉 土台:檜(熊本産)、小国杉



3



4

とは、基本に戻ることに、素晴らしい日本の職人の技術を伝承することである」と社員・職人一同が思っています。その先人の技術にエアバス工法とオールアースの施工を行うことにより、当社がめざす「永く住み継ぐ、自然素材の家づくり」が出来る上がっていくのだと考えております。今後もお施主さまからそのお孫さんの代まで末永いお付き合いをさせていただき、人と人とのつながりを大切に育み、その方だけの「唯一無二の住まいづくり」のお手伝いをしてまいります。

1、二間続きの和室。建具職人がつくった檜を使った障子や、猫間障子がアクセントになっている。2、家族が集うリビング。広がりの間取りで風がよく通るためエアコンはほとんど使わないとか。3、太鼓梁の力強い骨組み。設計は伝統加構に造詣が深い小林一元氏に依頼。4、周囲の雰囲気や溶け込むように配慮した外観。5、三和土仕上げの土間が涼しげな玄関ホール。



5